

# I 事業計画

## 基本方針

当財団は、「各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与する」ことを目的として事業を実施する。

また、公益法人として引き続き公益的な事業を遂行するとともに、公益認定基準を遵守し、かつ健全で責任ある経営に努めるものとする。

平成28年度は、様々な芸術公演を県民に提供するとともに、文化芸術の担い手を育成するほか、県民の文化活動の拠点である「茨城県立県民文化センター」の管理運営、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ海の総合ミュージアムである「アクアワールド茨城県大洗水族館」の運営を行い、県民から愛され、親しまれる施設運営と事業展開に努める。

### (1) 文化振興事業

自主事業に加え、本県文化芸術のさらなる活性化や優れた文化芸術にふれる機会を県民に幅広く提供することを目的とする県の委託事業を併せて実施する。

### (2) 茨城県立県民文化センター

本年度より新たな指定管理期間(平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間)が開始となるため、引き続き施設の適切な管理運営を行うとともに、平成28年4月11日に開館50周年を迎えることから、県と連携し年間を通して記念事業を実施していく。

### (3) アクアワールド茨城県大洗水族館

平成29年3月に開館15周年を迎えることから、本年度を「未来へ前進する1年」と位置づけ、有料入場者年間100万人の安定確保を目標とし、より一層の展示・企画等の充実やサービスの提供に努める。

### (4) 平成28年度の財団全体の施設年間利用者目標数

約174万人(県民文化センター利用者数60万人、アクアワールド茨城県大洗水族館総入場者数113.2万人)

## 1 法人運営事業

### (1) 事務局の運営

県から指定管理を受けた茨城県立県民文化センターの管理運営及び財団自らが運営するアクアワールド茨城県大洗水族館の運営及びこれらに必要な付帯事業について、各事業所の意見を集約し調整を図り、県との連携のもと、業務推進の進行管理及び事務事業執行についての指導を行う。また、次の事業を行う。

ア 理事会、評議員会の開催をはじめ、財団の事業計画及び予算等理事会議案の策定を行う。

イ 中期経営計画の進行管理及び進捗状況を検証するとともに、計画達成に向けた対策を行う。なお、第4期中期経営計画を本年度中に策定する。

ウ 職員の資質向上を目的とした階層別研修を行うほか、各種セミナーを積極的に活用し、必要な知識の習得に努める。また、救急法に関する研修を実施し、不特定多数の利用者が利用する施設の職員として必要な技能の習得を図る。

## 2 公益目的事業 1（文化振興事業）

### (1) 自主公演事業（主催公演 16 事業，共催公演 12 事業，計 28 事業）

自主公演事業を「普及」「参加創造」「鑑賞」の3つの事業に区分し、目的・テーマ別に公演を企画・実施することで県民各層の要望に適切に対応するとともに、地域文化の担い手を育成し、県民の文化意識のより一層の高揚を図る。

#### ア 普及事業

本県の有望な若手演奏家に発表の機会を提供し、本県音楽文化の向上を図ることを目的とした第 42 回茨城県新人演奏会を開催する。また、公演の概要・背景・演目等に関するレクチャーを公演に合わせて開催し新規鑑賞者の開拓とリピーターの確保に努め、文化芸術の普及を図る。

#### イ 参加創造事業

県民文化センター開館 50 周年を記念して、これまでの茨城県新人演奏会出演者から選抜した演奏家を中心に編成した管弦楽団とプロの指揮者によるコンサートや県内中学生以下の演奏家を対象としたクリニック付きのブラスコンサートを開催し若手演奏家の技術の向上を図る。

また、登録アーティスト制度（茨城県新人演奏会出演者等）を活用し新たに音楽と美術、映像等のメディアアートプログラムとして自主企画制作による事業を公募により実施し、若手演奏家の企画能力等の育成に努める。

#### ウ 鑑賞事業

県民文化センター開館 50 周年記念事業として、「諏訪内晶子ヴァイオリンリサイタル」をはじめ「ユンディ・リ ピアノリサイタル」や「松竹大歌舞伎」（出演：市川染五郎 他）などを開催し、国内外の優れた舞台公演を鑑賞する機会を提供する。また、県内の公立文化施設会館と連携を図り鑑賞ツアーを実施し県内全域に文化振興を図る。

また、民間プロダクションと協力し、多種多様なジャンルの公演を開催することで県民の要望に応じていく。

(公演計画)

|       | 月 日       | 公 演 名                  | 会 場    |
|-------|-----------|------------------------|--------|
| 普及事業  | 7月2日(土)   | 舞台公演をより楽しむ会（歌舞伎）       | 県文小ホール |
|       | 9月18日(日)  | 第42回茨城県新人演奏会           | 県文大ホール |
|       | 10月19日(水) | 舞台公演をより楽しむ会（オーケストラ）    | 県文小ホール |
| 事参加創造 | 11月13日(日) | ブラスフェスティバル             | 県文大ホール |
|       | 1月22日(日)  | 茨城県新人演奏会管弦楽団コンサート      | 県文大ホール |
|       | 2月11日(土)  | ミュージックカフェ vol.1        | 県文小ホール |
|       | 3月5日(日)   | ミュージックカフェ vol.2        | 県文小ホール |
| 業鑑賞事  | 4月9日(土)   | ミッフィーの音楽会（2回公演）        | 県文大ホール |
|       | 4月10日(日)  | 宗次郎オカリナ生活 40 周年記念コンサート | 県文大ホール |
|       | 4月11日(月)  | 諏訪内晶子ヴァイオリンリサイタル       | 県文大ホール |

| 月 日              | 公 演 名    | 会 場                 |        |
|------------------|----------|---------------------|--------|
| 鑑<br>賞<br>事<br>業 | 6月2日(木)  | ユンディ・リ オールショパンリサイタル | 県文大ホール |
|                  | 7月2日(土)  | 松竹大歌舞伎(2回公演)        | 県文大ホール |
|                  | 9月25日(日) | 千住明コンサート Calendar   | 県文大ホール |
|                  | 11月3日(木) | 劇団かわせみ座             | 県文小ホール |
|                  | 1月28日(土) | 大野雄二&ルパンティックシックス    | 県文大ホール |
| 主催事業 計(16事業)     |          |                     |        |

(共催事業)

| 月 日              | 公 演 名     | 会 場              |        |
|------------------|-----------|------------------|--------|
| 鑑<br>賞<br>事<br>業 | 5月24日(火)  | フォレストコンサート in 水戸 | 県文大ホール |
|                  | 5月29日(日)  | T.M.R コンサート      | 県文大ホール |
|                  | 6月29日(水)  | AI コンサート         | 県文大ホール |
|                  | 7月18日(月)  | 中島美嘉コンサート        | 県文大ホール |
|                  | 9月3日(土)   | 高野公男没後60年祭演奏会    | 県文大ホール |
|                  | 9月4日(日)   | ポピュラーコンサート(予定)   | 県文大ホール |
|                  | 11月12日(土) | クリスハートコンサート      | 県文大ホール |
|                  | 11月30日(水) | 葉加瀬太郎コンサート       | 県文大ホール |
|                  | 2月1日(水)   | 綾小路さきまろ独演会       | 県文大ホール |
|                  | 3月5日(土)   | よしもとお笑いまつり       | 県文大ホール |
|                  | 3月10日(金)  | 辻井伸行コンサート        | 県文大ホール |
|                  | 3月12日(日)  | 槇原敬之コンサート        | 県文大ホール |
| 共催事業 計(12事業)     |           |                  |        |

※ 会場欄の「県文」は県民文化センターの略。

(2) 受託事業(8事業)

本県の文化芸術活動の促進等を図るため、茨城県からの受託公演事業(いばらき文化芸術創造・発信事業)として次の事業を行う。

県内高校生を対象に世界で活躍する水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスンを開催し、県内高校生の演奏技術の向上と音楽文化の振興を図る。

また、新人演奏会出身者等の本県ゆかりの音楽家をソリストに迎え、本格的なプロのオーケストラによるコンサートを無料で開催する。さらに、「日露交歓コンサート」及び世界的に有名なソプラノ歌手グルベローヴァをソリストに迎え、チェコを代表するプラハ国立歌劇場の管弦楽団によるクラシックコンサートを開催し、本格的で質の高い海外の舞台公演を鑑賞する機会を提供することで、文化芸術の振興を図る。

なお、学校へのアウトリーチ事業として、従来実施してきた音楽出前講座のほか、新たにオペラを身近に体験するプログラムや茶道・華道等の伝統芸能を体験する講座を追加し県内の小中学校で開催することにより、文化芸術の振興に努める。

さらに、県内公立文化施設等の職員を対象にアートマネジメント講座を数回実施し、文化施設職員の更なるスキルアップを図る。

(受託事業計画)

| 実施日             | 公 演 名                                      | 会 場          |
|-----------------|--|--------------|
| 通年              | 文化芸術体験出前講座                                 | 県内小中学校 110 校 |
| 通年              | アートマネジメント講座                                | —            |
| 6 月             | 水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン                      | 水戸芸術館        |
| 6 月             |  | 水戸芸術館        |
| 8 月 6 日(土)      | みんなで楽しむオーケストラ                              | 日立シビックセンター   |
| 9 月 3 日(土)      |  | 龍ヶ崎市文化センター   |
| 9 月 10 日(土)     | 日露交歓コンサート                                  | 常陸太田市民文化センター |
| 10 月 19 日(水)    | エティタ・グレン・ローヴァ&プラハ国立歌劇場管弦楽団<br>「オペラの名曲をうたう」 | 県文大ホール       |
| 3 月             | かさま国際音楽アカデミープレコンサート                        | 県文大ホール       |
| 3 月             | かさま国際音楽アカデミー参加支援                           | —            |
| 受託事業 計 ( 8 事業 ) |  |              |

(3) 財団振興事業

財団の事業内容を広く県民にアピールするため、各事業所が連携を図り、文化振興につながる共通的な事業や広報活動等を展開する。

(4) 文化芸術活動への助成

文化活動を行う団体等に対して事業費の一部を助成し、県民の自主的・個性的な文化活動を支援奨励する。

| 事 項         | 内 容      |
|-------------|----------|
| 助 成 件 数     | 3 1 事業   |
| 1 事業当たりの助成額 | 5 0 万円以内 |

(5) 市町村文化施設及び地元演奏家等への支援

県内の文化団体からの申請を受けて後援を行うとともに、広報やマネジメント等で地元演奏家の支援を行う。

(6) 茨城県立県民文化センターの管理運営事業

県民文化センター利用者のニーズに応え安全安心で快適に施設が利用できる管理運営に努める。

本年度より新たな指定管理期間（第3期）が開始するとともに、4月11日に開館50周年を迎えるため、年間をとおして記念事業を実施する。

〔指定管理部門（公1）〕

本年度の利用者数は600千人、利用料金収入は103,139千円を予定する。なお利用率は、中期経営計画のとおり施設全体で83%とする。

この計画を達成するため、一層のサービスの向上を図り、新規団体やリピーターの確保に努めるとともに、1月限定割引に和室も加えホームページを更新し利用料金割引制度を周知する等、閑散期の利用促進を図る。

また、開館から50年目を迎えることから、経年劣化した施設を計画的に修繕するとともに、今後の施設・設備の長寿命化に努める。

#### ア 施設の利用促進及びサービスの向上

##### (ア) 1月限定割引制度による利用促進

閑散期の利用促進を図るため、1月限定で「施設利用料金の割引」を継続して実施する。さらに利用率の低い和室についても「施設利用料金の割引」を始める。(大ホール、小ホール、一般展示室、県民ギャラリー、和室の施設使用料(付帯設備を除く)の「50%引き」)

##### (イ) 新規利用者(団体等)への誘客及びリピーターの確保

- ・ホームページのリニューアル及び最新情報更新による利用促進。
- ・利用団体等にダイレクトメールの発送。
- ・日刊紙等、効果的な有料広告及び取材・無料記事掲載ができるような各種情報及び話題提供。

##### (ウ) 関係団体等との連携強化

- ・茨城文化団体連合など各文化団体との連携強化。
- ・県内外の公立文化施設との連携及び情報共有。
- ・県民文化センター友の会との連携によるチケット販売促進及び会員の利用促進。
- ・茨城県及び水戸市観光協会(コンベンションビューロー)等各関係団体との連携による全国規模の大会等の誘致及び利用促進。

##### (エ) サービスの向上

- ・会場申し込み及びチケット販売業務を毎日午後7時まで延長(年末年始及び土日祝日を除く)しているが、その効果について検証。
- ・主要な書式等のダウンロード環境整備。
- ・利用者と主催者双方にアンケートを実施し、改善点等を把握。
- ・応接研修など更なるスキルアップのための研修。

##### (オ) イルミネーション事業

第16回イルミネーションを50周年記念事業の一環として位置付け開催する。

なお、開催にあたってはグリーン電力の活用を図る。

点灯期間：平成28年11月12日～平成28年12月25日まで

##### (カ) 県民文化センター友の会の運営

県民文化センター友の会は、県民文化センター事業及び県民文化水準の向上に大きく寄与してきたことから、今後もサービスの向上及び会員の確保を図る。

##### (キ) ワンコインコンサートの開催

クラシック音楽に気軽に触れることができるコンサートとして年6回開催。

本年4月は小ホールで開催し、文化センター開館50周年記念及び友の会発足50周年記念事業の一環として位置付け開催する。

\*平成28年度ワンコインコンサート開催計画

| 事 項            | 実施予定日       | 出演者（楽器、ジャンル等）  |
|----------------|-------------|--|
| 第10回ワンコインコンサート | 平成28年4月9日   | ソロやユニット演奏<br>・山本 徹（チェロ）<br>・小林 倫子（ヴァイオリン）<br>・和田 萌子（ピアノ） |
| 第11回 〃         | 平成28年7月23日  | ジャズユニット<br>・山本 太郎（ジャズクラリネット）<br>・小林 創（ジャズピアノ）            |
| 第12回 〃         | 平成28年8月27日  | ・未定  |
| 第13回 〃         | 平成28年11月26日 | ・未定  |
| 第14回 〃         | 平成28年12月25日 | ・未定  |
| 第15回 〃         | 平成29年3月中旬   | ・未定  |

イ 安全・安心で快適な施設づくり

(ア) 施設整備計画

施設の老朽化を抑制するとともに長寿命化を図るため、計画的な修繕を実施する。

なお、危険箇所の早期発見及び事故の未然防止に努め、緊急性の高い箇所を県と協議しながら優先的に実施する。

小ホール客席を改修し、客席数を460席から386席に減らすことで椅子のサイズを大きくし利用者がゆったり座れるようにする。また車椅子専用リフトを設置するとともに車椅子専用スペースを設ける。

また、催し物に合わせた障害者専用駐車場の臨時増設、車イスの増台、案内誘導板の増設を実施する。

(イ) 危機管理対策

東日本大震災で得た教訓を活かし、火災訓練の他大規模地震を想定した避難訓練を実施し利用者の安全確保に努める。また、危機管理対応マニュアルを常時見直しとともに、全職員及び文化センター委託業者並びに使用者等関係者全員に周知徹底させ、災害発生時には速やかに行動ができるようにする。

- ・避難訓練（年2回、火災及び大規模地震を想定）の実施。
- ・危機管理対応マニュアルの常時見直し。
- ・AEDの管理及び作動方法習得の徹底。

- ・火災、地震発生時の対応のほか、不審者への対応、水害・傷病等への対応。
- ・大ホール開催時には、別途警備員を1名配置し、緊急事態への敏速な対応に努める。
- ・関係各団体との連絡体系の整備（毎年確認）。

＊施設利用計画

| 事 項     | 利用人数（人） | 利用日数（日） | 利用料金（円）     | 利用率（％） |
|---------|---------|---------|-------------|--------|
| 大ホール    | 241,500 | 263     | 61,079,585  | 82     |
| 小ホール    | 69,400  | 221     | 11,095,493  | 79     |
| 集会室（6室） | 111,535 | 335     | 7,573,895   | 97     |
| 分館集会室   | 44,209  | 305     | 11,915,949  | 88     |
| 和室      | 4,219   | 170     | 1,118,870   | 49     |
| 一般展示室   | 66,900  | 279     | 6,106,795   | 79     |
| 県民ギャラリー | 62,100  | 232     | 4,248,237   | 66     |
| 計       | 599,863 | 1,805   | 103,138,824 | 77     |

（利用率とは、利用可能日に対する利用日数の割合）

（ウ）開館50周年記念事業の実施

開館50周年を迎え、県と協議しながら記念式典の開催や年間を通じた記念コンサートを開催する。

### 3 収益事業1（県民文化センター自主事業）

（1）グリル事業

グリル・売店は文化センター利用者への利便施設としての役割を踏まえた運営を行うため、グリル及び売店への利用者のニーズを把握し、営業形態、コストの見直し、経費削減を図り健全経営に努める。特に、グリルの今後のあり方を検討するため利用者にアンケート調査等を行っていく。また、サービスの向上として応接マナーの向上及び割安感のあるメニューとともに、50周年を記念して特別メニューを検討する。

（2）駐車場事業

千波公園・県民文化センター前駐車場は、主に県民文化センター利用者に利用されるほか千波公園や茨城県近代美術館等を利用する者にも利用されている。

県によるバリアフリー化工事が終了し、安全安心な駐車場に生まれ変わるとともに駐車可能台数が410台から422台に増えたため、より快適に利用できるよう施設の維持管理に努める。

また、駐車場管理事務の簡素化を目的として、駐車料金自動徴収機の設置の可否も含め近隣の類似施設等への調査を開始する。

- ・平成28年度利用台数計画 154,200台

## 4 公益目的事業2（水族館事業）

### (1) 水族館の運営

水族館は、基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿い、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通して、生物多様性や自然環境、地球環境について楽しみながら学ぶという、教育と娯楽性を兼ね備えた施設として運営する。

また、水族館が本来持っている[展示][普及][研究]の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして次の機能を持たせた施設として運営する。

ア 驚き・楽しさ・やすらぎのアミューズメント（娯楽）要素を持った観光レクリエーション施設

イ 地域の文化と経済に貢献する拠点施設

ウ 海を通した環境教育の場としての生涯学習施設

エ 自然保護と種の保存に関する実践・研究施設

オ 平成28年度入場者計画 総入場者数 1,132,000人

平成29年3月に開館15周年を迎えることから、本年度を「未来へ前進する1年」と位置づけて“有料入場者年間100万人の定着と安定確保”を目標とする。

そのために、季節毎の様々な事業や生物展示の情報に加えて、ハード・ソフト両面からのおもてなしの心を前面に出して「大洗水族館の魅力発信」を積極的に行っていく。

千葉県北部と埼玉県東部は、多くの人口を抱えるとともに広域的な道路整備により本県との時間的距離が短縮していることから、観光PRや広報等において最も力を入れていくべき地域と考え、両地域を本県や栃木県とともに最重点地域とし、重点地域である福島・群馬とともに積極的な広報を行い、集客を図る。

さらに、第4四半期からの開館15周年事業、生物展示解説、イルカ・アシカの能力公開、情報系ネットワーク等を充実させるとともに、新規生物の導入や生物の繁殖に努める。

また、中長期修繕計画に基づく施設整備について、緊急性のあるものから実施するなど資金の有効な活用を図るとともに安全な施設管理に努め、採算性の視点に立った効率的な予算執行を行う。

### (2) 飼育展示事業

基本テーマに沿った生物の多様性について、「見て、触れて、遊びながら楽しく学べる」展示の充実にも努めるとともに水生生物等に関する調査・研究を行う。

また、種の保存、生物と自然環境に関する研究成果を還元し、教育的側面から生涯学習施設としての役割を担うほか、学芸員実習や中学生の職場体験学習、小学生総合学習等の受入れを行い、博物館相当施設としての役割を担う。



## ア 魚類展示

飼育生物の展示・飼育・繁殖研究を行い、来館者のニーズに即した新規生物の研究開発に努め、引き続き対外的な情報発信を強化する。通常展示テーマ以外の生物についても、既存水槽設備を最大限に活用しながら、季節展示やイベント・企画展などに組み入れフレキシブルに展開する。

対話形式の展示解説としては、アクアウォッチングやシャークウォッチング、マンボウ・出会いの海の大水槽での給餌解説や水族館探検ツアーの更なる充実を図る。

また、サンゴ類の展示水槽を拡大し、よりダイナミックで華麗なサンゴを展示することで熱帯コーナーを充実させ、誘客促進を図る。

生物収集では、サメ類・クラゲ類・深海生物などに重点を置き、他水族館や漁業者・公的機関との情報交換及び収集活動の連携を強化する。また、新たな展示生物種の導入に向けて生物収集基地の開発のため、現地調査を行い、搬入ルートを構築する。

調査研究では、県内沿岸に來遊するサメ・マンボウ・ウミガメ類の生態調査、及び県内沿岸に生息する魚類・無脊椎動物の定性調査を行い、それを展示に寄与し、県内に生息する生物の生態を解説することで茨城の自然保護啓発に努める。

また、サメ類の槽内繁殖にも引き続き注力し、安定した展示生物の確保を目指すとともに、困難とされている胎生サメ類の繁殖機構を解明し繁殖賞を目指す。

## イ 海獣展示

海獣類の展示・飼育・繁殖・育成に関する研究を推進するとともに、イルカ・アシカオーシャンライブによる能力公開及びラッコ、ゴマフアザラシ、エトピリカ、フンボルトペンギン、カピバラ、カリフォルニアアシカの給餌解説、ペンギンのお散歩タイムを行うなど、動物の生態について、より楽しく学べる形で紹介する。

イルカ・アシカオーシャンライブでは、季節毎に内容を替え、リピーターのお客様に満足していただけるように新しい種目などの訓練を進める。また、経年劣化が見られるオーシャンシアター内の座席の一部修繕等を行い、お客様の安全を確保するとともに快適な環境整備を進める。

繁殖については、まず鯨類では繁殖に向けトレーニングを継続するとともに、人工授精を含めた繁殖技術の習得に努める。カリフォルニアアシカでは現在1頭妊娠が確認されており、夏頃の出産が見込まれるため、安定的な育成を目指す。フンボルトペンギン及びエトピリカについては、種の多様性維持のため、他園館との個体及び種卵の交換を計画実施する。ゴマフアザラシは高齢化のため繁殖が難しいので、アザラシ類を含めた新規鰭脚類の入手について準備を進める。

保護・調査研究については、関係機関との連携を図りながら茨城県沿岸へのストランディング調査活動を引き続き推進する。

また、イルカの繁殖時にも必要な新規多目的プールの整備に向けて、調査・準備を進める。

#### ウ 自然博物館水系展示水槽管理受託事業

ミュージアムパーク茨城県自然博物館から委託を受けた水系展示水槽の適切な管理を行うとともに、展示用生物の収集をはじめ、各種展示解説や企画展での水槽展示、維持管理を実施する

#### (3)教育普及事業

生物や環境等について、誰もが気軽に楽しみながら学ぶことができる活動を展開するため、展示物及び設備や人材の活用を図り、館内外で発見体験学習、レクチャー・展示解説等の活動を進める。

また、ホームページや機関誌を通して水族館に関連した各種情報の提供に努めるとともに、学校等からの要請により自然観察会や講演会等への講師派遣の他、移動教室を開催する。さらに、教育機関からの実習、職場体験学習や各種団体の研修の受入れを行うとともに、生涯学習施設としてボランティア活動支援を行う。

#### ア 発見体験学習の実施

生き物や自然環境、水族館に対する理解を促すため「自然体験塾」や会員制教室「アクアパル」、「さかなの絵コンクール」等の事業を実施する。自然体験塾については、人気のある水族館ナイトキャンプを6回実施するほか、講座の見直しを反映させた新講座「深海生物のふしぎ」「コンブを育てよう」「よくばり飼育体験」を開始する。また、前年度から開始した大人向けの講座「マスタースクール」を、合計4回開催する。

#### (発見体験学習内容)

| 名 称               | 内 容  | 期 間       |
|-------------------|--|-----------|
| (1)自然体験塾          | 実験観察室での生き物観察や工作、野外での自然観察会等、生き物や自然に関する講座を20テーマ、延べ30回実施。             | 通 年       |
| (2)マスター<br>スクール   | 大人向けの上級コース。生き物の生態や特徴の解説及びサメの解剖や給餌体験、イルカトレーナー体験、マンボウなどの講座を年間4回実施。   | 5・9・12・1月 |
| (3)アクアパル          | ポイント制会員クラブ。前年度までの2年間の講座に参加してポイントを獲得した参加者に対し、シラス漁にチャレンジ等の特別講座を3回実施。 | 6・10・1月   |
| (4)さかなの絵<br>コンクール | 入館者（小学生）を対象に、展示生物を写生する機会を提供し作品展と表彰式を開催。写生会は土曜・日曜で延べ4回実施。           | 10月～12月   |
| (5)絵てがみ展          | 旬の食べ物や行事、花や生き物等、季節や自然をテーマにした作品展の開催。毎月優秀作品を選考して館内に展示。               | 通 年       |

#### イ レクチャー及び展示解説の実施

展示生物や自然環境に対する理解を深めてもらうために、入館者を対象に展示生物の生態等に関する解説サービスとして、なるほど魚っちんぐ（お魚発見教室レクチャー）、アクアウォッチング（水中対話解説）、お食事タイム（給餌解説）及び水族館探検ツアー（バックヤード案内）等の各種プログラムを実施する。

また、解説員の業務管理や指導、類似施設研修等を行い、レベルの高いパフォーマンスの維持向上に努める。

新規事業として、館内混雑特異日の水族館探検ツアーに代わり、自由参加となる「バックヤードウォーク」を実施する。さらに、要望の多い「タッチングプール増設」のために検討会を立ち上げ、次年度実施に向けた準備を行う。

#### ウ コンピューター情報運用管理

館内の情報端末や館内外へ向けたHP上において、展示生物トピックス情報や環境保全、水族館の機能や役割等に関する情報発信について管理を行う。HPはコンテンツ検索利便性向上のため、随時新たな情報の更新に努める。また、HPのアクセス解析により閲覧者の動向分析やPR効果を評価し、さらに有効な広報媒体作りに活用する。

コンピュータシステム管理については管理サーバを更新し、安全運用を図る。また、システム端末等において散発的に発生した動作不良等の各種不具合解消を図り、安定した運用に努める。その他、コンピュータ機器や解説ソフトの更新計画について検討を行う。

#### エ ボランティア活動支援

生涯学習の一環として実施しているボランティア活動の支援を行う。年間を通して募集・研修を行うとともに毎月1回役員会を開催し、要望の集約、活動課題、研修計画等の検討・整理を進める。6月に総会、10月に他園館との交流研修、11月に活動発表会「マンボラフェスタ」、2月に接遇研修を開催する。

#### オ 機関誌「Sea遊」の発行

水生生物等への理解促進を目的に、水族館のイメージアップ、広報を図るため展示生物の興味深い生態やトピックス等、様々な情報を紹介する機関誌を年2回発行し、国内の動物園・水族館や県内の教育機関及び栃木県の小中学校等に配布する。

#### カ 企画展の開催

常設展では表現できないテーマを取り上げて、生き物や自然環境についての理解を促進するため、企画展を開催する。また、参加体験型の付帯事業を行う。その他、平成29年1月上旬から開催する第25回企画展「身近な水辺の生き物展」（仮称）の開催準備を進める。

(企画展の内容)

| 名 称                                 | 内 容   | 開催期間                           |
|-------------------------------------|---|--------------------------------|
| 第 24 回企画展<br>つながるいのち<br>～潜入！子育ての世界～ | 「つなげ命のバトン」をテーマに、海の動物たちの出会い、交尾、子育てについて、飛び出す絵本風の展示で様々な「子育て」を分かりやすく解説展示する。   | 平成 28 年 1 月 16 日<br>～5 月 8 日   |
| 第 25 回企画展<br>「身近な水辺の生き物展」<br>(仮称)   | 身近な水域で見られる馴染み深い生物たちの知られざる生態を紹介し、驚きと発見をもって生物たちの現状を知ってもらい、環境意識の向上を目指して開催する。 | 平成 29 年 1 月中旬<br>～5 月 7 日 (予定) |

キ 深海ゾーン・海の生き物科学館及びお魚発見教室展示機器等の運用管理

各アイテムの適正な展示機能を確保するため、随時、生物資料の補充や散発的に発生した動作不良等の各種不具合の迅速な解消に努める。また、新たな中期経営計画に基づき展示構想の検討を行う。その他、遊具（キッズランド）については、利用者の安全第一を考えた運用管理を実施する。

ク 自然教室等への講師派遣

教育機関等の各種要請に応じ、水生生物や環境等をテーマとして、自然観察会・移動教室等の各種館外活動を行う。

※ 27 年度実績：小中学校など 63 件， 4, 637 人

ケ 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じ、水生生物や飼育設備等をテーマとして、バックヤード見学・館内レクチャー・夜の水族館等の各種館内活動を行う。

※ 27 年度実績：小中学校など 108 件， 3, 471 人

コ 実習生の受入れ

社会教育施設、博物館相当施設としての役割を果たすため、学芸員・飼育実習・職場体験学習・インターンシップ等の受入れ等の調整を行う。

※ 27 年度実績：専門学校の飼育実習，高校・大学等のインターンシップ等 37 人

(4) 誘客促進事業

千葉県北部と埼玉県東部を新たに最重点地域に加え、福島・群馬とあわせて情報発信と観光業者への広報や各種キャンペーンを行うほか、県内大型イベントとの連携により集客を図っていく。

また、首都圏を意識した情報発信に努めるとともに、県外での知名度向上を目指しながら新規エリアの開拓を進めていく。あわせて、SNS やインターネット広告を活用することで、女性や若い世代に対しても積極的にアプローチし、利用年齢層の幅を広げていく。

一方、チラシ及び割引券の配布において、回収した割引券をより詳細に分析するこ

とで、より効果的な配布方法を検討し、回収率・利用者数の増を図る。

夏の特別企画は「アマゾン」をテーマに、ピラニアやアナコンダなどの生体を中心とした話題性のある展示を行う。さらに、各種広報とバス広告及び常磐線特急電光表示板などで情報発信を行い、誘客促進につなげていく。

今年度は、開館15周年の節目の年であることから、閑散期には大規模なイルミネーションの装飾を施すとともに、2・3月には開館記念イベントを実施し、その中で本県ゆかりのタレントなどを1日館長に任命してお祝いムードを演出するほか、記念品を作成して来館者に配布するなど、日頃の感謝を込めた催しを行い、夏だけでなく、1年をとおして話題の提供に努めていく。

(催事計画)

| 期 間                                     | 催 事 名   |
|---|---|
| 4/29～5/8 GW期間<br>延長営業有                  | GWイベント2016<br>・4/29～5/5「みんな集まれフェスティバル」                                    |
| 6/1～7/7                                 | 七夕イベント<br>・七夕水槽・連携願い事短冊・館内装飾  |
| 7/1～31                                  | 第41回 動物愛護標語コンクール  |
| 7/16～9/19<br>延長営業有                      | 夏の特別企画「アマゾン」(仮称)<br>・ピラニアやアナコンダなど生体を中心にした展示<br>・「ヘラクレスオオカブトと綱引き対決」など遊べる展示 |
| 募集 6/1～8/31<br>投票 9/10～9/30<br>発表 10/11 | アクアフォトコンテスト2016<br>・館内生物の写真コンテスト, 表彰式(10/30)<br>・撮影会(8/20)                |
| 8/11 予定<br>延長営業有                        | 夜の水族館サマーナイト「延長営業」<那珂湊花火>  |
| 10/1～10/31                              | ハロウィンイベント2016<br>・チャレンジゲーム・特設水槽他  |
| 11/1～11/30                              | 年間パスポート所持者限定特典  |
| 11/19～12/25                             | アクアワールドクリスマス2016<br>・サンタの家, チャレンジゲーム他                                     |
| 12/15～2/15                              | アクアワールド開館15周年 閑散期対策企画<br>・出会いの海の大水槽イルミネーション                               |
| 12/26～1/20                              | アクアワールド開館15周年 年末・年始イベント<br>・チャレンジゲーム・干支水槽他                                |
| 1/21～2/14                               | アクアワールド開館15周年 バレンタインイベント2017  |
| 2/25～4/2                                | アクアワールド開館15周年 感謝祭2017<br>・1日館長・記念品プレゼント他                                  |

(5) 管理運営部門

- ア 利用状況及び売上状況等各種データの分析を行うとともに、経営調整会議・販売戦略会議・マーケットプレイス連絡会議を定期的を開催するなど、経営状況を随時把握し安定経営に努める。
- イ 事務事業の効率化を図るとともに、省エネルギー推進委員会の開催による、更なる省エネ化に積極的に取り組むなど、経費の節減を図り運営経費の節減を目標とした見直しを行い、効率的な予算執行に努める。
- ウ 県有財産であるアクアワールド・大洗を都市公園法に基づき管理するにあたり、腐食や老朽化による施設設備の修繕箇所増加に対応し、財団の積立金を有効に活用して安全安心かつ清潔な施設管理を行う。修繕計画に基づき、常用発電機点検修理や海獣系逆洗ポンプユニット更新などの大型工事を行う。
- エ 職員の資質向上と効率的運営に資するため、先進施設でのより高度な接客研修や語学研修等を行い、入場者へのサービス向上とインバウンド対策に努める。
- オ 消防訓練のほか地震や津波を想定した避難訓練や、AED救急救命講習、個人情報保護やマイナンバーの管理徹底、パワハラ防止などのコンプライアンス関係の研修等を実施し、職員の危機管理意識や危機対応能力の向上を図る。
- カ 繁忙期の駐車場確保対策として、大洗第4埠頭の借り上げ及びシャトルバスの運行に加え、隣接する大洗公園駐車場の弾力的な借上げ運用により、駐車場の確保と周辺道路の渋滞緩和に努める。波浪により浸食の激しい一般駐車場側海岸護岸について、安全で恒久的な駐車場運営ができるよう、管理者側には対応策を強く要望していく。
- キ 生物飼料の残滓リサイクル実験における分析結果を踏まえ、製造された残滓肥料について、再資源化に向けた周知を行うとともに、花木及び農産物生産を行う専門機関に配布して有効活用を図る。

## 5 収益事業2（水族館売店事業）

地域に貢献する観光拠点施設として、マーケットプレイスの物販部門、コーヒーショップ及びミュージアムショップを運営し、賑わいの創出や地域産品等の販売を行い、地域経済への貢献及び水族館の収入確保に努める。

またオリジナル商品の開発、販売促進を行い、売上げ増に努めると共に、ホームページの充実、さらには、LED化の促進等を行い、「地球に優しい環境」に改善していくことにより、ショップのイメージアップ及びサービスの向上に努める。

- ア マーケットプレイス物販部門「モラモラ」の運営  
ピルル・ブルルをはじめとするオリジナルキャラクター商品の販売促進に努め

ると共に、適正在庫の推進，そして季節毎の装飾，企画展イベントとタイアップした関連商品の販売，また 15 周年記念商品の開発及び販売等も行い，利用者の購買意欲を高め，利用率の向上を図る。さらに，昨年に引続き環境に配慮し，店舗什器照明の LED 化の推進や，包装用資材の無駄の削減等，資源の保護にも努める。

#### イ コーヒーショップ「マーメイドギャラリー」の運営

季節やイベント等に合わせた「限定メニュー」や新メニューの開発を行い，収益確保に努めると共に，当館導線の間地点として「ちょっと一息できる空間（憩いの場）」を提供することにより，来館者に愛され親しまれるショップ運営に努める。

#### ウ ミュージアムショップ「ガレオス」の運営

ショップ名の由来であるサメを意識した商品を充実させ，モラモラとの差別化をより明確にし，ミュージアムショップとしての位置づけを確立している。店舗内レイアウトの改装の効果も売り上げに反映され定着してきているが，今年度はさらにその意識を高め，グレードアップ商品の取り扱いを促進して更なる売上増を目指す。